

平成26年度 一般会計 予算内示 事業別概要書 (当初)

款	4. 衛生費	大事業	2. 訪問歯科診療事業
項	1. 保健衛生費	中事業	
目	4. 休日夜間急病診療所費	担当所属	健康増進課

予算種別	補助/単独	事業区分	前年度 当初予算額	増減額	前々年度 決算額	実施計画	第1章	「思いやりと希望にみちたまちづくり」～保健・福祉の充実、子育て・子育て環境の充実～	5年間計画額	
経常	単独	計画	0	0	2,417		基本施策10	地域医療が充実し、市民が安心して暮らせるまちにします	平成23年度	-
									平成24年度	-
									平成25年度	-
							施策2	救急医療体制を維持・充実します	平成26年度	-
								平成27年度	-	

本年度事業費	(歳入)	(歳出)
本年度当初要求額	104	
本年度当初査定額	104	2,410

財源内訳	使用料及び手数料						その他	一般財源
本年度当初要求額	0						104	△104
本年度当初査定額	104						0	2,306

<事業に関する説明>

(事業の概要) 概ね、65歳以上の寝たきり等で歯科医院への通院が困難な市民に対して、歯科医師等が訪問し、入れ歯・むし歯などの治療を実施します。	(事業の目的) 寝たきり等で歯科医院への通院が困難な方に対し、訪問による歯科診療及び歯科保健指導を実施し、生活の質の維持・向上を図ります。	(事業の効果) 在宅寝たきり者にとって、自分の歯(義歯含む)で食事を摂取することは、生活の質の維持・向上させるために重要な要因です。
(事業実施上の問題点) 少子高齢化や社会環境の変化に伴い、市民の医療に対するニーズは、多様化・高度化しています。医療機関の相互連携体制の構築や市内医療機関などの地域医療の充実を図る必要があります。	(前年度からの見直し点) 「在宅ねたきり老人等歯科保健推進協議会」を廃止し、「地域保健医療協議会」の専門部会として移行します。	(見積についての特記事項) 治療後の調査によると、患者の100%が主訴が解消し訪問歯科診療に満足しているとの結果でした。高齢化が進展し、対象者が増加傾向の中で歯科を取り巻く社会状況に注目する必要があります。

節	本年度 当初査定額	前年度 当初予算額	増減額
01	1,950	2,226	△276
08	140	140	0
11	171	175	△4
12	120	120	0
14	29	29	0

特定財源	款	項	目	節	細節	細々節	歳入特定財源科目名称	本年度 要求額	本年度 査定額	前年度 予算額	増減額
	13	01	03	01	02	00	在宅寝たきり老人等訪問歯科診療診療費	104	104	104	0
差引一般財源								△104	2,306	△104	2,410